



小峰城跡

奥州関門の名城と謳われた小峰城は、結城親朝が14世紀中頃に小峰ヶ岡に築城し、江戸時代の初代藩主・丹羽長重が約4年の歳月をかけて大改修(1632年頃)させた梯郭式の平山城です。1868年に戊辰戦争で城内建物の一部が焼失し、平成3年に三重櫓、平成6年に前御門が歴史資料や発掘調査成果に基づき木造で復元されました。



南湖公園・南湖神社

1801年、白河藩主・松平定信が築造した庭園。湖畔には桜、松、楓などが移植され、四季折々の美しい風景を堪能できます。また、南湖神社は定信を祀る南湖岸の社で、出世大明神、世直し大明神、繁昌の神として信仰され、近年では除災開運としても人気があります。



白河関跡

奥州三関ののひとつに数えられる白河関は、奈良時代から平安時代頃に機能していた国境の関で、当時は人や物資の往来を取りしまっていたと考えられています。その後、都の文化人たちの憧れの地となり、歌人・俳人が多くの歌や句を残しました。



白河駅

赤瓦の屋根やステンドグラスが特徴的なJR白河駅の駅舎は、大正10年(1921年)に建てられた木造平屋建ての歴史的建造物で、「東北の駅百選」にも選ばれています。昔のままの長いプラットホームも駅舎と一体となって大正期の趣を伝えています。



白河だるま

眉毛は鶴、ひげは亀、耳びんは松、顔の両側に梅、あごひげは竹を表しているといわれています。白河藩主・松平定信が絵師の谷文晁(たにぶんちょう)に図柄を考案させたとされており、全国に知られる縁起物です。幸運を招く福々しい「鶴亀松竹梅だるま」として人気を集めています。



白河ラーメン

コシと歯ごたえのある手打ちのちぢれ麺、コクがありながらさっぱりとした味わいのしょうゆ味のスープが特徴です。市内には数多くの店舗があり、職人気質な店主たちがこだわりを持って日々美味しさを追求することで、白河のラーメン文化を築いています。

白河へのアクセス

東北新幹線

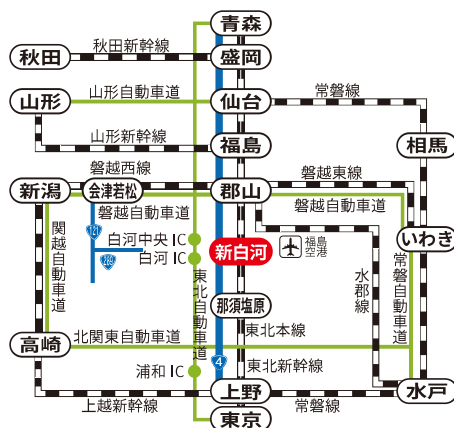
東京～新白河:1時間15分
仙台～新白河:1時間

東北自動車道

浦和IC～白河中央スマートIC(ETC専用)
:1時間45分
仙台南IC～白河中央スマートIC(ETC専用)
:1時間30分

福島空港

～白河市街:自動車で30分



(発行) 白河市長公室文化振興課
〒961-8602 福島県白河市八幡小路7番地1
TEL 0248-22-1111(代)
(協力) 福島県南地方狛犬ネットワーク